

「始めっ!」 ッセーヨーイ (発声用意)」

「フレー!!」「フレー!!」

き渡るエールの掛け声。 県内屈指の伝統を誇る浜松商業高 放課後、校舎に挟まれた中庭に響

校応援団の練習風景だ。月・水・金 の週3日、団員たちが声を張る。

ほぼ9割を女子団員が占める。 現在は1年生20人、 34人が所属。 うち男子4人、女子30人。 (応援委員会) として位置付けられ いたが、3年前に部活動となり、 2年生14人の計

凜々しい姿が注目を集めた。男子生代の応援団長は女子が務め、その チラシをまいて団員獲得に励むとい 決めていない男子は貴重で、 でに決まっている。そのため部活を 徒の多くは所属する部が入学時にす 浜商は6割以上が女子生徒。先々 4 月 は

## いつも誰かを応援中

それが かし、

ぼ毎月、 活動は活発で、 どこかで何かを応援中だ。 一年間を通じてほ

チ、コンバットマー

会」。吹奏楽部がキラーチュー 方に座っている新1年生は、すぐ後 一気に盛り上がる。 新年度に入るとまず「新入生歓迎 VA浜商』をかけると体育館内は 緊張気味に前の ンマ

拍手と歓声に包まれる。

意する新入生もいるという。 の応援団の演舞にシビれて入団を決 めるのでビックリだ。この時の壇上 ろで2・3年生が右へ左へと踊り始 5月は部活動壮行会、6月は浜工

マーチ演舞

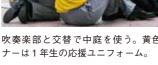
第95代応援団長による浜松商業高校

等学校応援団フェスティバルもこの Gまつりでの演舞と出番が続く。高 浜商野球定期戦、さらに浜商OBO

## 届け! \*応援の力

同校の応援団は長く生徒会活動

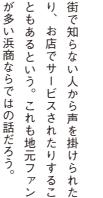




吹奏楽部と交替で中庭を使う。黄色のトレーナーは1年生の応援ユニフォーム。







内中庭のメインイベントが応援団の 店街での盛り上げ演舞、サッカー部 場でもある。冬にかけても、 ステージであり、新団長の顔見せの 応援、浜松シティマラソン出張演舞 秋になれば浜商祭のシーズン。校 地元商

温30度を記録した。炎天下、

応援団

松球場は朝9時の試合開始時点で気

今年の初戦の相手は湖西高校。浜

にとって、

最後の晴れ舞台でもある。

野球部敗退とともに引退する3年生

校野球選手権地方大会が始まる。言

そして夏本番を迎えると、全国高

うまでもなく応援団の見せ場であり、



周りの人のために

応援はひたむきに。

敗退。

試合後、「申し訳ありません」

と謝る応援団長の姿が印象に残った。

次々に繰り出して相手校を威嚇した。 味方を援護。マーチと応援個人技を は吹奏楽部と共に応援の波状攻撃で

しかしながら、試合結果は無念の

現在の浜商の応援スタイルは早稲田系。コーチ をしてくれるOBの一人が早大応援部の元主将

だからなのだ。

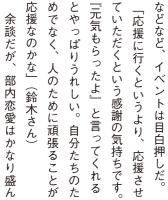
団長が交替した。

「応援って、

自分たちで勝敗を決め

んから2年生の平野晴也さんに応援

これを境に、3年生の鈴木雄大さ



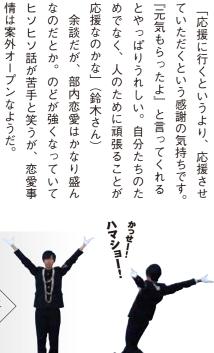
応援は全力でなきゃいけないんで

と思えないじゃないですか。

だから

けてるヤツに応援されても頑張ろう かどうかも分からない。でも、ふざ られない。選手に想いが届いている

す」(鈴木さん)







の代表として見られることが多く

情は案外オープンなようだ。

ヒソヒソ話が苦手と笑うが、

ムで演舞を披露した。応援団は学校

には、浜商OBが入居する老人ホー 頼が舞い込む。二学期が始まる直前

とどまらない。地域からも応援の依

応援相手は同じ学校の生徒だけに